

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-540	20-024	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳） Prior Relapse, Ongoing Alcohol Consumption, and Failure to Engage in Treatment Predict Alcohol Relapse After Liver Transplantation 以前の再飲酒歴、飲酒の継続、飲酒に対する治療への参加の失敗により、肝移植後の再飲酒が予測される		
執筆者 Deutsch-Link S, Weinrieb RM, Jones LS, Solga SF, Weinberg EM, Serper M.		
掲載誌 Dig Dis Sci. 2020Jul;65(7):2089-2103. doi: 10.1007/s10620-019-05937-4.		
キーワード	PMID	
アルコール性肝疾患 肝移植 SIPAT スコア SALT スコア	31707529	
要 旨 目的： アルコール性肝疾患（ALD）は、米国における肝移植の主な適応症である。肝移植後の再飲酒は、長期的な予後不良と関連している。本研究では、再飲酒に対し介入を要する患者を同定するために、再飲酒と移植後の拒絶反応、死亡率の関係を評価すること、再飲酒の行動・心理社会的リスク因子を明らかにすること、肝移植後の再飲酒に対する SIPAT (Stanford Integrated Psychosocial Assessment for Transplant) スコアおよび SALT (Sustained Alcohol Use Post-Liver Transplant) スコアの予測妥当性を評価することを目的とした。		
方法： 米国の単一の移植センターにおいて、慢性 ALD のために 2011-2017 年に肝移植を受けた患者 155 名に対し、レトロスペクティブな診療録レビューを行った。コックス比例ハザードモデルを用いて、再飲酒と同種移植の拒絶反応、再飲酒の心理社会的なリスク因子の関連を評価した。解析に含める心理社会的な予測因子は、ステップワイズ法で決定した。		
結果： 20%の患者が再飲酒に該当した。再飲酒は拒絶反応との関連を認めた（HR 2.33, 95% CI 1.11–4.91, $p = .03$ ）。再飲酒の重要な予測因子として心理社会的モデルに取り入れられた因子は、以前の再飲酒歴、飲酒に対する推奨される治療への参加の失敗、肝疾患罹患中に続けた飲酒であった。また、SIPAT スコアが 21 以上（HR 6.40, 95% CI 1.36–30.18, $p = .019$ ）、SALT スコアが 7 以上（HR 2.30, 95% CI 1.12–4.75, $p = .024$ ）が再飲酒と関連していた。ROC 解析により、本研究の心理社会的モデルの予測能力を SIPAT と SALT と比較評価した（C 統計量；SIPAT の 0.71 に対し 0.83、SALT の 0.62 に対し 0.77）。		
結論： 肝移植後の再飲酒の重要な心理社会的予測因子、また再飲酒に対する移植前の SIPAT および SALT スコアの有効性を明らかにした。		